

ギニア月報（2024年4月）

主な出来事

【内政】

- 19日、亡命中のセルー・ダレン・ディアロギニア民主勢力連合（UFDG）党首が7月の同党大会前に帰国する意向を示唆。
- 22日、停電に抗議する暴動によりコナクリ市内で2名が死亡。

【外交】

- 23日、暫定首相が駐ギニア・ロシア大使と面会。両国の技術、鉱業、商業及び軍事分野における協力について議論。

【経済（経済協力含む）】

- 9日、計画国際相は2024年4月4日から5日まで西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）投資フォーラムに参加し、3億700万ドルの枠組み合意に署名。
- 18日、経済・財務大臣がワシントンで開催されたIMF・世界銀行会合に出席。コナクリの石油燃料タンクの火災を受けた影響とその復興について協議。
- 25日、暫定移行議会（CNT）はギニア政府とWEST AFRICA GROUP LNG INC及びHELIOS ENERGY INFRASTRUCTURE SCSとの間で署名された液化天然ガスプロジェクトおよび総発電容量1,800MWの発電設備開発に関する協定を審議。

1 内政

- ・ 13日、暫定政権が設置した経済・金融犯罪裁判所（CRIEF）が、ライト前法相、 Gum 前首相及びシセ前経済財務相を公的資金の不正流用や不正蓄財等の疑いで調査か。
- ・ 19日、亡命中のセルー・ダレン・ディアロギニア民主勢力連合（UFDG）党首が7月の同党大会前に帰国する意向を示唆。
- ・ 22日、停電に抗議する暴動によりコナクリ市内で2名が死亡。

2 外交

- ・ 23日、バー首相が駐ギニア・ロシア大使と面会。両国の技術、鉱業、商業及び軍事分野における協力について議論。
- ・ 28日、サウジアラビアで開催されたイスラム開発銀行（IDB）創立50周年記念式典に経済・財務相、計画・国際協力相及びインフラ相らが出席。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 9日、世銀訪問団がバー首相と会談。ギニアにおける実施案件及び同国の経済状況等について議論。会談後、世銀はギニアに対し 20 億ドルの支援を行う用意があり、首相がそのフォローを行う意向を表明したと説明。
- ・ 9日、計画国際相は 2024 年 4 月 4 日から 5 日まで西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) 投資フォーラムに参加し、3 億 700 万ドルの枠組み合意に署名。4 つの農業大学と生産ユニットの改善、医療施設や地方病院の建設、公立小中学校建設、国際基準を満たす採掘研究所の設立、コナクリでの道路工事等が含まれる。
- ・ 11日、ギニアとシマンドゥ・プロジェクトを構成する産業パートナーは、150 億米ドルの投資について最終確認。
- ・ 18日、経済・財務大臣がワシントンで開催された IMF・世界銀行会合に出席。コナクリの石油燃料タンクの火災を受けた影響とその復興について協議。
- ・ 24日、漁業省と FAO との間で 15 万米ドルの協定書に調印。漁業部門の持続的発展と食料安全保障および戦略的漁業計画の実施を支援。
- ・ 25日、暫定移行議会 (CNT) は、ギニア政府と WEST AFRICA GROUP LNG INC 及び HELIOS ENERGY INFRASTRUCTURE SCS との間で署名された液化天然ガスプロジェクトおよび総発電容量 1,800MW の発電設備の開発に関する協定を審議。駐ギニア米国大使及び同前大使も出席。

(了)